

令和6年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和6年6月13日（木）

午後6時～8時

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、神委員、三村委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、中野委員、
一條委員、山木委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、葛西主査、工藤主事、
佐々木主事、吉田主事、西谷主事

2 審査方法

（1）一般部門

1事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに1人100点満点（10項目×10点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

【補助金の交付決定を受けた回数が0～2回】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の各審査項目の平均点が3点以上

【補助金の交付決定を受けた回数が3回以上】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が6点以上
- ③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が3点以上

3 審査結果

- ・一般部門 15事業中5事業
 - 採択事業 5事業
 - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 2事業中0事業
 - 採択事業 0事業
 - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	12	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	「第5回 小・中・高生ひろさき短歌大会」		
団体名	弘前市歌人連盟		

【主な意見】

- ・子どもたちが自分の感情を表現し、発信する機会が数多くあれば良いと思うので、是非継続していただきたい。
- ・短歌講座や短歌ツアーの試みは、新しい人材を発掘するということで活発化につながると思うので、今後も色々な手段を考えていていただきたい。
- ・協賛を得る方法として、賞の名前に企業名を入れたり、文具店に賞品を提供してもらうなどすると、企業側ではPRにもなるし地域貢献にもなるので協力してくれると思う。また、チラシは親も目にする機会が多いので、小児科や歯医者など夏休みに行きそうな場所に、協賛をお願いするのも良いと思う。

【審査結果】

合計点 81.3点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		81.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	11	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	消費者教育講座「親子で楽しく遊ぼう！『きみとタノシーの一日すごろく』」		
団体名	Kirschbaum（キルシュバウム）		

【主な意見】

- ・実際にイベントを行ってみて効果があるということを実感し、確認することで自分たちがやっている意味を見出すことができると思うので、効果測定を行いながら事業をやっていただきたい。
- ・消費者教育に関しては、市内で色々取り組んでいる個人や団体の協力を仰ぎながら周知を進めてほしい。また、各々普及活動をしていると思うので、うまく連携して活動を広げて行ってほしい。
- ・子どもたちが親のクレジットカードを使って課金してしまうことが大きな問題になっているので、親と一緒に講座に参加する場合は差し迫った具体例を提示するなど、親にも危機感を持ってもらえれば、より一層親子での消費者教育が進むと思う。

【審査結果】

合計点 78.7点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.9
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.1
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.1
合 計		78.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	2	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	みんなでテニス		
団体名	弘前市テニス協会		

【主な意見】

- ・経験者については、技術習得につながるため、受益者負担として参加料を徴収してもよいのではないか。
- ・未経験者の方に継続して参加してもらえるよう、次のステップにつながる仕組みを具体的に考えて欲しい。
- ・プロを呼んで、一流の技をとにかく見せるということも、今後の展開には何かいい効果を生むと思うので、今後の発展に期待したい。
- ・団体構成員も経験者向けの回に参加できるようだが、テニスの競技人口を増やしたいということであれば、構成員以外の方に参加してもらったほうが、目的に合致すると思う。

【審査結果】

合計点 63.4点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.1
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.9
合計		63.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	14	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	ひろさきで学ぶ 芸術歌曲の技と心 2024		
団体名	弘前大学教育学部声楽研究室・ピアノ研究室		

【主な意見】

- ・弘前で音楽を楽しむ機会が少なくなったと感じるので、ぜひ頑張ってください。
- ・現在、仮のホームページの制作が進行中で、今後本格的な運営もされていくということなので、イベント実施後もホームページを上手く活用して情報を開示するなど、いろいろ仕掛けがあると、とても良いと思う。
- ・弘前では、弘前オペラや弘前合唱連盟などの団体が活動しており、9月からは市民文化祭が始まるので、色々な団体と一緒に活動し、弘前をもっと盛り上げていただきたい。

【審査結果】

合計点 77.0点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.4
合 計		77.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	1	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	弘前ねぷたまつりねぷたロケーションリアルタイム発信事業		
団体名	弘前大学 丹波研究室		

【主な意見】

- ・ビジョンや目的に掲げている観光産業の活性化や地域経済の発展への貢献、地域全体の魅力向上につなげるための事業検証を行い、団体が得た知見を様々な分野に還元していただきたい。
- ・運行団体からも意見を聴取して、事業の発展につなげてほしい。

【審査結果】

合計点 79.6点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.9
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		79.6

令和6年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和6年6月14日（金）

午後6時～7時55分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、
佐藤（信）委員、神委員、三村委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、
一條委員、山木委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、木村主査、工藤主査、
工藤主事、佐々木主事、吉田主事

2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

（2）スタート部門

1事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

3 審査結果

- ・一般部門 15事業中5事業
 - 採択事業 5事業
 - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 2事業中0事業
 - 採択事業 0事業
 - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	5	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	みんなのウォークラリー大会～街の中の小道を歩いてみよう		
団体名	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会		

【主な意見】

- ・レクリエーション協会という名前と取り組みの内容から子どもや親子が中心だというイメージが強かったが、健康やウォーキング、弘前のまちを歩いてみようという内容を考えると、高齢者もターゲットとするといいと思う。
- ・学校などだけでなく、健康志向が強い高齢者が集まる場所や健康にまつわるイベントの際にチラシの配布をするなど、ニーズがありそうなところに周知することで親子や高齢者の多世代交流といった事業の意義が少しずつ高まっていくと思う。
- ・ウォークラリーという言葉だけだと、高齢の方にはわかりにくいと思うので、サブタイトルのようなものがあると深く情報を掘ってみようという気持ちになると思う。

【審査結果】

合計点 73.7点 \geq 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 \geq 3点 ,
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 \geq 6点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.0
合 計		73.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	3	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	あんさんぶる		
団体名	うちの困りごと減らし隊 はぐふぁみ		

【主な意見】

- ・前年度実施した事業の分析をしっかりとし、今年度の事業へ反映しているため、今後の展開に期待している。
- ・1%システム制度を利用している、子育て支援や居場所づくり活動に取り組んでいる団体が他にも多数あるので、それらの団体と連携して、市民の方にも色々な選択肢があるということを周知する活動を行ってほしい。
- ・仲間づくりや居場所づくりができる場所の提供を目指しているということであれば、安定して開催することや、単に学ぶ場ではなく、お互いのつながりを作ることを意識したプログラム設定が大事になってくるため、工夫して実施していただきたい。

【審査結果】

合計点 73.8点 ≥60.0点 , 各審査項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		73.8

《審査内容》

一般部門

事業番号	7	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	夏休み親子でワークショップ		
団体名	手作り工房【さーくる】		

【主な意見】

- ・ワークショップの数が多いので、参加者に駐車場など丁寧な案内をすることや、会場に必要な機材など、当日慌てないように事前の準備をしっかりとさせていただきたい。
- ・各ワークショップが5組限定なので、やりたいワークショップができなかった場合楽しさが半減してしまうと思う。他のワークショップの魅力など、子どもたちの楽しみを担保するための工夫を考えていただきたい。
- ・事業のビジョンである、親子での会話や交流がもっと増えるような企画に発展していただきたい。
- ・子どもの教育関係などを学んでいる学生にも声がけて巻き込んでいけば良いのでは。

【審査結果】

合計点 73.1点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.4
合 計		73.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	10	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	地方にくらすLGBTQの理解度up・応援事業		
団体名	NPO法人 しののベース		

【主な意見】

- ・弘前でも、悩んでいる当事者の方が多いと思うので、団体の方々が手助けをすることで住みやすい弘前ということを感じてもらえるのであれば、ぜひ実現してやっていただきたいと思う。
- ・男女共同参画やダイバーシティもなかなか浸透していかないで、LGBTQも目に見えてあつという間に広がって理解が深まるということはあまり期待せず、地道にやっていくことで、色々社会が動いていくということにもなっていくと思う。ぜひ諦めずに長い目でやっていただければいいと思う。

【審査結果】

合計点 73.1点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.9
合計		73.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	15	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	弘前藩の武士の技と文化体験事業		
団体名	武術研究稽古会 修武堂		

【主な意見】

- ・古武道単体ではなく、武家屋敷で行われるイベントに出演し、弘前の武家文化や武士の精神を伝えることとセットにすることで、より深く理解する機会になると思う。
- ・この事業の最大の目的である、次の世代の子どもたちに文化が伝承されて将来的にまちづくりにつながることを目指すために、市内で行われる行事やイベントなど多くの市民に見てもらえる場で演武して、知ってもらうことが大事だと思う。

【審査結果】

合計点 70.5点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.1
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		70.5

令和6年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（3日目）

日 時：令和6年6月15日（土）

午前9時30分～11時50分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、神委員、三村委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、楠美総括主幹、菊池主幹兼協働推進係長、
中畑主査、石岡主査、工藤主事、佐々木主事

2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

（2）スタート部門

1事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

3 審査結果

- ・一般部門 15事業中5事業
 - 採択事業 5事業
 - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 2事業中2事業
 - 採択事業 2事業
 - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	13	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	岩木山エコプロジェクト		
団体名	岩木山観光協会		

【主な意見】

- ・活動していただいていることに本当に感謝したい。不法投棄はなかなか無くならないと思うが、ぜひこれからも弱気にならず続けていただきたい。
- ・これまでの活動の写真等を活用し、多くの市民に現状を知っていただくことで、活動している皆さんの不法投棄への怒りを市民共有のものにするとともに、不法投棄しているかもしれない人達への抑止力につながればと思う。
- ・活動に参加することは難しくても、グッズの購入、寄附、応援コメントを送るなど、いろんな応援の仕方があると思うので、様々な関わり方ができるような入口を作ってくださいと良いと思う。
- ・「もっと愛そう！岩木山キャンペーン」はポジティブな活動なので、このようなキャンペーンの中に不法投棄の現状も織り交ぜることで、岩木山を好きな人に、何らかの形で前向きに関わりたいと思ってもらえるきっかけになるのではと思う。

【審査結果】

合計点 89.5点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	9.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.2
合計		89.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	8	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	十面沢お山の会（お山参詣）		
団体名	十面沢お山の会		

【主な意見】

- ・自分たちで、地域の人が少ないようになって継続していけるかという課題を解決しようと、色々企画して地域のつながりを作っている姿勢など、1%システムにふさわしい事業だと思う。子ども世代にも続けていけるように、今後参加費を徴収するなど、少しずつで良いので事業を継続していく仕組みを考えていただきたい。
- ・子どもの時に体験したことは、大人になっても覚えているし、必ず地域に戻る力になると思うので、今後も子どもたちの参加を呼びかけてつなげていてもらいたい。
- ・活動の様子を地域外にも発信していくために、SNSに強い中学生などに写真を撮って発信してもらえば、良いものができるのではないかと思う。

【審査結果】

合計点 89.3点 \geq 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 \geq 3点 ,
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 \geq 6点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	9.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.2
合 計		89.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	4	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	BANRYU 大作戦 ～その向こうへ～by Itaniity		
団体名	Itaniity Project 実行委員会		

【主な意見】

- ・様々な分野で担い手不足が課題となっている中、町会の役員ではなく、比較的若い世代、ベテランと子供たちをつなぐ世代の方々が積極的に自分たちで考えて動いているところが、特に素晴らしいと感じる。
- ・1%システムは「原則として市内で実施される事業」を対象にしているので、自分たちの地域（新和地区）だけの事業を企画することもできるが、生活圏が一緒だということで、あえて板柳町も含めた事業内容として申請してくれたというところが、これから活動を始めていくという思いを感じられて嬉しく思ったので、ぜひ応援したい。

【審査結果】

合計点 81.2点 \geq 60.0点，各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合計		81.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	6	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	地域発掘ワークショップ		
団体名	楽しいね!!東目屋実行委員会		

【主な意見】

- ・自分たちでも地域で困ってることを解決できるということを中学生にも感じてもらいたいので、今回の事業を行うことでその地域を思ったり、地域活動をするきっかけになるのではないかと思います。
- ・ワークショップで意見を出すときにネガティブな方向から発想すると、課題をゼロにするという発想にどうしてもなりがちだが、こうなりたいといったところを目指す、今の現状からどうアプローチするかという発想になっていくので、ポジティブな発想は必ず持っていただきたいと思う。
- ・成功体験というのを1つでも得ることができるような方向に持っていくと、この先みんなで行おうという気運につながっていくと思うので、ぜひファシリテーターの方と密に連絡を取りながら、来年につなげていただけたら良いと思う。

【審査結果】

合計点 84.0点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.3
合計		84.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	9	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	いしかわ夏祭り／山車運行		
団体名	いしかわ夏祭り／山車実行委員会		

【主な意見】

- ・今回は中町内での山車運行実施ということだが、ぜひ上・中・下、3町内で運行できるように、1%システムを活用しながら頑張っていたきたい。
- ・山車は人が乗るといことなので、決して事故や怪我のないよう、安全対策の徹底をお願いしたい。
- ・少人数で苦勞してイベントを作り上げるのではなく、一緒になって取り組んでいってくれる仲間を沢山増やしていただきたい。そのためには、色々な人が自分たちで企画したり、一緒に作ったり、催し物に参加できるような要素を組み込むなど、徐々にでも良いので、ぜひ取り組んでいただきたい。
- ・事業を継続していくために、企業への協賛依頼も検討してはどうか。

【審査結果】

合計点 78.8点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		78.8

《審査内容》

スタート部門

事業番号	①
事業名	リズムトレーニング体験会 with 体軸体操
団体名	リズムキャラバン青森

【主な意見】

- ・ベースが健康づくりで、誰でも気軽に取り入れられる楽しい運動として色々な要素を持っているため、次につながる事業だと思う。
- ・子どもや高齢者向けに活動している他の団体にアプローチして、それぞれのイベントと一緒に企画してみると広がりが出てくるのではないかと。
- ・健康を意識している方は、自分にどんな運動が合うのか探しているため、リズムや体軸などのキーワードを見つけて、取り入れてくれると思う。
- ・健康志向が強い高齢者向けの教室や、スポーツクラブなどにチラシを配布すれば集客につながるのではないかと。
- ・色々なスポーツに取り入れていくという方向性もあるので、スポーツ関係の協会や指導者にチラシを配布して見てもらうと広がりが出てくるのではないかと。
- ・リズムトレーニング・体軸体操という言葉からは何をやるのかわからない方もいると思うので、事業実施の際は、わかりやすい言葉や表現に言い換えれば良いと思う。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

《審査内容》

スタート部門

事業番号	②
事業名	楽しみながら学ぶ！小比内町会防災体験会
団体名	小比内町会子ども会

【主な意見】

- ・弘前市内の子ども会は活動をしていないところが多くなっているが、こんなに一生懸命やってくれる子ども会があるのは素晴らしいと思う。ぜひ続けて、頑張ってもらいたいと思う。
- ・町会活動を活発にするためには元気な子どもたちの存在と子どもたちの親世代の参加が必要であるが、ただ楽しいだけでなく、みんなが興味があり親も参加しやすい防災というテーマを元に集まってもらう企画になっていると思う。今回の企画に参加することで町会活動に参加してもらい、これを通してこれからの子ども会の発展に加えて、親世代がその他の町会活動へ参加することに繋がっていけばいいと思う。
- ・コミュニティーづくりをベースにした、一石三鳥の企画であると思う。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）